



設置されたPOTEKA

## 千葉県柏市の雨水貯留池にPOTEKA設置

千葉県柏市では、酒井根雨水貯留池にPOTEKAを1台設置し、2019年8月から運用されています。

大雨の際に下水道などの雨水排水施設の処理能力が追いつかずに、内水氾濫と呼ばれる災害が発生することがあります。柏市では、内水氾濫から街を守るために雨水貯留池を設け、一定量を超える雨量の流出を制御しています。局地的な集中豪雨が増えることから、POTEKAを導入して雨水貯留池の雨量を監視しています。柏市の関係部署だけでなく、市民の皆さまも気象情報を、インターネットサイト(POTEKA NET)とスマートフォン用無料アプリ(My POTEKA)で閲覧でき、状況把握がすばやく簡単にできることを市の担当者様から評価されています。

これからも皆さまの安全・安心に貢献できるようにPOTEKA事業を推進していきます。

(担当: 気象防災事業部)



IHI展示ブース

## 日本アフリカ・ビジネスEXPOに出展

8月28日から30日まで、パシフィコ横浜で開催された日本貿易振興機構(JETRO)主催の「日本アフリカ・ビジネスEXPO」ジャパンフェアのIHIブースに、POTEKAのパネルを出展しました。この展示会は、アフリカ開発会議(TICAD7)のサイドイベントとして、アフリカ各国首脳や閣僚等政府要人・財界人を対象に開催されました。アフリカの課題として解決が求められる「質の高いインフラ」、「フードバリューチェーン構築」、「気候変動対策」、「保健衛生の改善」など、日本の貢献が期待される分野ごとに157の日本企業や団体による製品、技術、サービスの展示紹介を行うことを目的としています。

今後このような機会を利用し、アフリカの安全な社会の発展に貢献、協力できる製品を紹介していきます。

(担当: 気象防災事業部)



ICRM会場

## 「アメリカ気象学会39th ICRM」に参加

9月15日から20日まで、奈良春日野国際フォーラム 豊～I・RA・KA～で開催された「アメリカ気象学会39th ICRM(International Conference on Radar Meteorology)」に参加しました。

気象レーダ観測技術に関する研究報告が主対象の会合でしたが、当社は超高密度気象観測網(POTEKA)により捉えたダウンバーストの観測データを紹介しました。日本だけでなくアメリカ航空宇宙局(NASA)等の海外の研究機関にも、地上気象観測の有用性を示す貴重な機会となりました。

レーダ観測は、集中豪雨、竜巻、ダウンバーストなどの激しい気象現象を捉えるためには欠かせない技術であり、当社は地上の実観測データを活用する観点からレーダ観測技術の発展に関わることで、災害に強い社会づくりにこれからも貢献していきます。

(担当: 気象防災事業部)

## Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。